

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室では、近畿大学、順天堂大学、筑波大学、慶應義塾大学と協働し、「秋田県井川町における小児期からの生活習慣病予防に資する尿中バイオマーカーに関する疫学研究」を実施しています。

【研究課題名】

秋田県井川町における小児期からの生活習慣病予防に資する尿中バイオマーカーに関する疫学研究

【研究期間】

研究機関の長の実施許可後から 2028 年 3 月 31 日まで

（倫理委員会や研究機関の長の承認のもと、延長することがあります）

食事調査の利用又は提供を開始する予定日：2024 年 10 月

ゲーム教材の記録の利用開始日：2026 年 11 月 1 日

【研究の意義・目的・方法】

生活習慣病は、中高年期の生活習慣や食習慣だけでなく、小児期からの生活習慣にも大きな影響を受けることが明らかになっています。したがって、生活習慣や食習慣の健全化に早期から取り組むことが重要です。特に、秋田県井川町では塩分摂取量が依然として高いことが地域の健康課題となっており、小児期からの予防活動が求められています。

これまでに井川町義務教育学校では、減塩を中心とした副読本を活用した健康授業を実施し、その前後で児童・生徒およびその保護者の食生活の実態を把握するための尿検体測定を行ってきました。今年度から、健康教育をさらに充実させるため、カリウムを多く含む食品について学ぶゲーム教材を新たに開発し、小学 4 年生の授業で使用します。このゲーム教材は、町、教育委員会および学校の許可を得て、学校教育の一環として実施するものです。本研究では、ゲームに取り組んだ回数や時間、回答内容、授業後アンケートの回答等を分析し、児童の理解状況や教材の使いやすさ、改善点を検討します。食事内容や摂取状況について記録された食事調査データに加えてゲーム教材の活用から得られた知見を、既に取得されている尿検体の測定結果（ナトリウム、カリウム、クレアチニン、尿素窒素）や、学校健診および保健事業から得られるデータと統合し、食塩摂取量の推定や生活習慣の変化との関連性を評価するために使用します。これにより、地域の小児期・若年期からの生活習慣病予防に貢献することを目指します。

【研究結果の公表】

研究成果は、研究対象者を特定できないようにした上で、学会や学術雑誌等で公表します。

【研究組織】

<研究代表機関>

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学（責任者・石原真穂・助教）

<研究分担機関>

近畿大学医学部公衆衛生学教室（責任者・今野弘規・主任教授）

順天堂大学医学部衛生学・公衆衛生学講座（責任者・山岸良匡・教授）

筑波大学医学医療系社会健康医学（責任者：村木功・教授）

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学（責任者：岡村智教 教授）

【個人情報の保護について】

本研究は既に取得された尿検体測定結果や学校健診及び保健事業のデータに加え、食事調査の結果、ゲーム教材活用状況や回答内容等を用います。分析には個人情報を削除し、番号などに置き換えたデータを用い、研究成果の公表の際に個人の結果が公表されることはありません。したがって、この研究により、「秋田県井川町における小児期からの生活習慣病予防に資する尿中バイオマーカーに関する疫学研究」にご参加いただいた皆さまが不利益を受けたり、危険性が生じたりする可能性はまずありません。しかし、ご自身が分析の対象となることを希望されない方がおられましたら分析から除外するなどの対応ができますので、下記へお問い合わせ下さい。ただし、研究論文などの公表済みの資料や個人が完全に特定できない状態に加工済みのデータからの削除はできませんので、ご了承ください。

【本研究に関する問い合わせ先】

大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学 平日 8:30～17:00（土日祝、年末年始を除く）

連絡先電話番号 06-6879-3911

大阪大学では、臨床研究に関して研究者以外と話がしたい場合、その他苦情、相談がある場合に相談いただける窓口を設置しています。以下の窓口もご利用ください。

臨床研究相談窓口 平日 8:30～17:00（土日祝、年末年始を除く）

連絡先電話番号 06-6879-6106